

キリストキョオ
キリスト
キリスト教
名

○彼はキリスト教の信者(信徒)です。

△キリスト教とも云ふ。

キヨウギン

きようぎん

胸襟

(名)

○ 今晩は大いに胸襟を開いて誤じよかや

ないか。

日泰辭書原稿「キ」の部 (5)

キリソ
ヨリキンロまで

- 第一次検討 (主として用例) 伊丹
- 第二次検討 (助詞其他) 淺野 ✓
- 第三次検討 (品詞分類) 中島
- 第四次検討 (全般) 長沼 ✓

キリッロエル きりそろへる 切揃へる (他下)

○彼女はいつしも断髪の前髪を切揃へてゆく。

ゆで大層子供らしく見える。

○紙の端を綺麗に切揃へて下さい。

第 9 部 (5)

キリカシ
きりだし
〔切出〕
〔名〕

(一) 言ひ出し

○ どうも話の切出し方がまづかった

(二) 小刀

○ この切出しはなかなかよく切れた

キリ如ス
キリだす
切り出す
(池田廿四)

(一) 木や石を切り出す

○山から木を切り出す。

○石山から石を切り出す。

(二) 言ひ出しにいくいと言ひ出す。

○芝方で切り出すのを待つてめた。

○切り出しにいくい問題。

キリツ

きりつ

起立

(名)

敬

する自。サ。ス。

○起立、禮。(教壇で組長のかけ声令)

○皆さ人御起立(ゴキリツ)を願ひます。

○起立する。

○積成の方は起立して下さい。

(一)

キリソ
きりソ
規律
(名)

(一) 秩序

~~規律~~ ^が ~~だ~~

○ 規律が正しい。

○ 規律を乱す。

(二) 規定
○ 規律のない生活

○ 規律を守る。

○ 規律を破る。

キリツメル
きりつめる
〔切詰める〕
〔他下〕

(一) 切り縮める

〇 この ~~木~~ ^花 は少し長過ぎる様だから切詰

めて下さい

(二) 節約する

〇 彼は相当切詰めた暮らしをしてぬる

キ
リ
又
ケ
ル
キ
リ
如
け
る
切
取
け
る
他
切
取
下
り

〇 困 難 を 切 取 け る 。

〇 難 関 を 切 取 け ば 一 切 切 取 け ば 。

〇 難 為 を 切 取 け ば 。

キリハナス 切りはなす 却放す (他四)

○當駅で後部の二輛を切放します。から、前部の

~~客車へお乗換へを頼みます。~~

○この問題は^(それと)切放して考へて頂きたい。

キ
リ
ヒ
ウ
ク

き
り
ひ
ら
く

切
開
く
(他
力
四)

○~~山~~ 密林を切開く。

○ 山を切開いて道を作る。

中
リ
ヒ
ロ
ケ
ル
ま
り
み
ろ
け
る
ち
ぢ
ぢ
け
る
(
他
が
下
一
)

○
家
を
建
て
増
す
為
に
裏
の
竹
藪
を
ち
ぢ
ぢ
け
た
。

ギリマワス

きりまはす

切廻す

(他苗)

○ ~~彼~~ ^{あの人}

は一人で家の事を切廻してゐる。

キリユウ キリジ

【寄留】—する。自変。

○ 区役所へ寄留の届

を^出し^て ^おいた^方か^いな^らぬ[。]

(—する)

○ 現住所の方へ寄留しておけば、そこで検査

が受けられます。

○ 寄留届。

○ 寄留地

キリュウ

きりり

気流

(名)

○外にいみ天氣の時
気流の悪いので飛行

機は相富揺れます

キリョウ

キリヤ

【四百里】

【五】

(一) 才幹

○ 流石

に彼は

一軍の將

たる

器量がある。

(二) 容色

○ 彼處

のお嬢さん

は

たかたか

か器量

がいい。

キリヨク

きりよく

〔気力〕

〔名〕

○彼もこの頃大分気力が衰へたやうだ。

あの頃

キ
ル

きる

〔切る 伐る 前切る 截る 斬る〕

(他・ラ四)

1. 刃物できる。

○ 玉蕊を微塵に切る。

○ 身を切られる思いがする。

○ 山の木を伐り出す。

○ むらがる敵を斬つて斬りまくつた。

2. 絶縁する。離す。

○ 水気をよく切つてから鍋に入れて下さい。

○ 電話の番号が違つてゐましたから、切りました。

○ あの仕事とは縁(手)を切つてしまひました。

3. 區切る。きめる。

○ 不意に言葉を切つて考へ込んでしまつた。

○ このお金は一箇月間と期限を切つて貸すこと上げます。

4. カルタ等揃つてませあはす。

○ 不公平の無い様によく切りまゝたよ。

5. 句

○ 炭呵をきる | 炭呵で鋭く述べ立て又罵り立てる。

○ ーらをきる | 知らぬふりをする。

○ 口火をきる | 発端を開く。最初につを用く。

○ ~~手形を切る~~ | ~~手形を割裂する~~

○ 火蓋を切る | 行動を開始する。

△ 切るが他の動詞に添はり、他の意味を生ずる場合

1. ……し終へる。果す。盡す等完了の意となる場合

○ 無理をしたあかげで期日までにやるとやり切るやができた。

○ 昨夜一晩で読み切つてしまった。

○ こんなに沢山では、とても一日中にはやりきれません。

○ 一時間では書ききれない。

やりきるやが
出来ないので形

上に来る語の意味を強める場合

2. ひらひらに 甚 小の意

○ 病後間もない彼はやつ小切つた顔であつた

○ 小川には底まで見える様な澄み切つた水が流れてゐます

△ 「切る」はたちきる。きり離す。 截る「きりぐ」にたち切る。

「伐る」木をきる。 前カる「金」夾できる。

「斬る」きり殺す。

△ 「切れる」の項を参照。

キル

きる

「着る」(他上一)

(一) 着物を

○ この暑さでは上衣など着て居られない。

○ 身頃はすく大きくなるので去年作った服

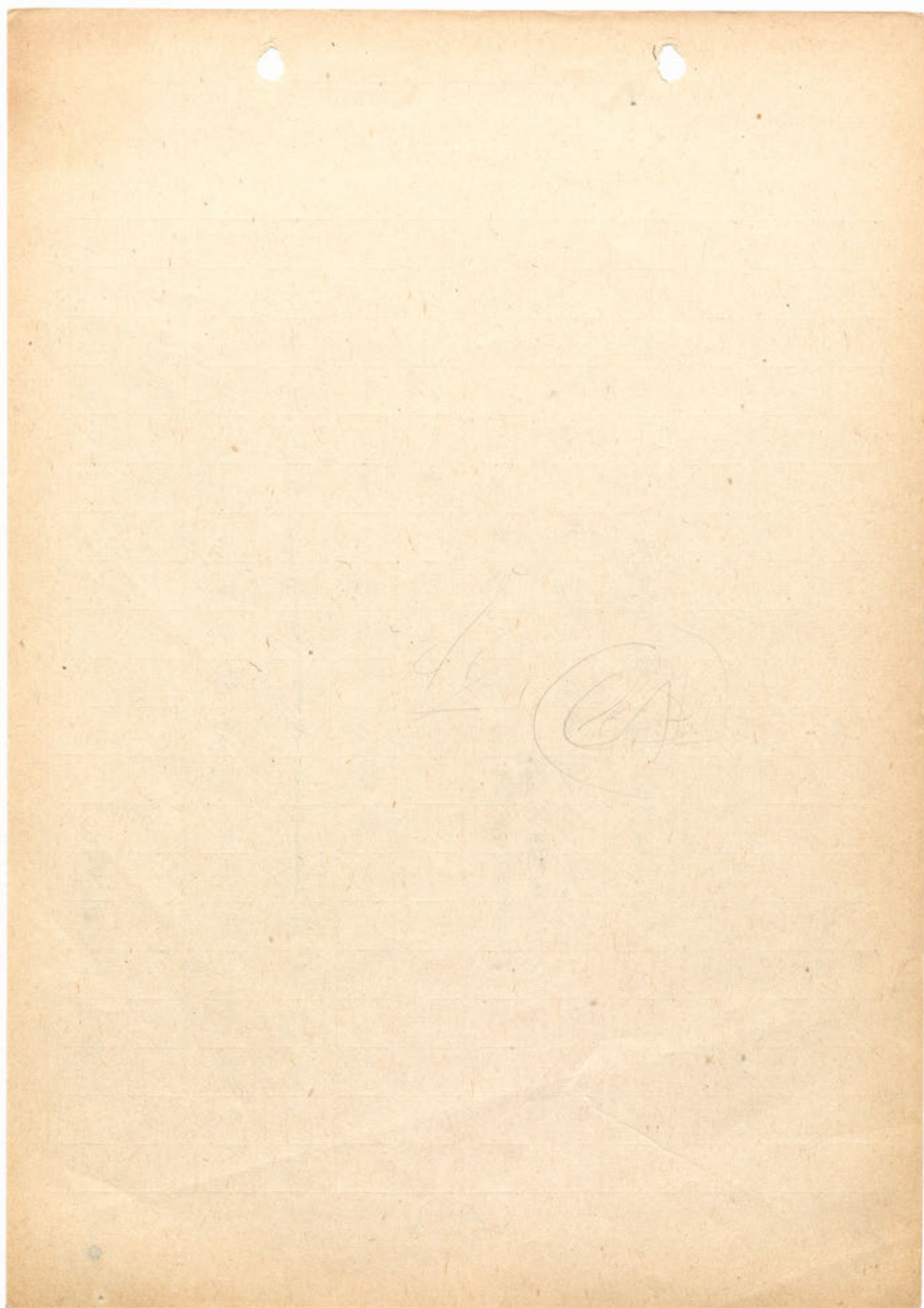
かもし着られなくなった。

(二) 罪(とら)を

○ 彼は同僚の罪を被て ~~潔く罰せられた。~~

△ この場合は「被」の字を用ひる。

○ あい ~~罪~~ の子を思に被らうはたまらない。



キレ

きり

布切

名

絹の布

木綿の小切

絹の小切

織物布

絹の小切

木綿の切の方かゝるせう

ニ、きりばし

何か紙切に書と下さい

キレアジ

きれあぢ

【切味】

(名)

○この小刀はなかなか切味が好い。

○切味を巨めす。

キレイナ
きれいな
綺麗な
名形動

一 美麗

○ 花が綺麗に咲きました。
てびらこ。

○ 綺麗な着物ですね。

二 清潔

○ もっと綺麗に拭きなさい。

○ 綺麗に掃除ができてゐる。

三 全然すつかり
劇団に用ゐる場

○ 綺麗にだまされた。

○ あの人 綺麗に縁を切った筈だ。

キレキレ
きれきれ
【切れ切れ】
【名】

~~切~~

○彼はその手紙を切れ切れ小に引裂いた。

○彼の思想は結局切れ切れと集め集め切れ切れに過ぎない。

○何處で誰か吹くのか。笛の音が切れ切れ

に聞えて来る。

キレシ
きれぢ

○この切地で外套を
作って下さい。

「切地」(名)